

金沢市 第2期SDGs未来都市計画

石川県金沢市（2020年度選定）

1.地域の特徴と課題及び目標

藩政時代にまちの礎が築かれて以来、戦災や大きな災害に見舞われたことがなく、歴史的街路やまちなみを色濃く残す伝統と歴史のある都市である。北陸新幹線金沢開業という機会を生かしつつ、交流人口の拡大や国内外との交流の促進を図ると同時に、観光と市民生活の調和を図ることや、気候変動を受けて環境を重視したまちへの転換や、現代にふさわしい新たなコミュニティの形成と強化を図ることで、新たな価値を創造し、持続的な発展を続けるまちをめざす。

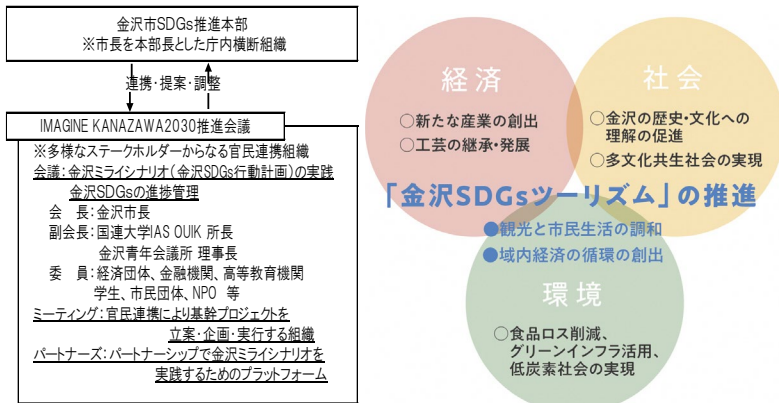
2.関連するゴール



3.取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

金沢市、金沢青年会議所、国連大学IAS OUIKの3者が、連携協定に基づきつくり上げた、金沢の独自目標である「金沢SDGs『5つの方向性』」の実現を通して、3者を中心に、市民、企業、教育機関、来街者をも含めた多様なステークホルダーとの連携のもと、「しあわせ」を共創する、世界の交流拠点都市金沢を実現する。

4.自治体SDGs推進等に向けた取組



6.取組成果

- ・パートナーシップでSDGsを達成するプラットフォーム「IMAGINE KANAZAWA2030 パートナーズ」の加入促進
(会員数) 236者 (2023年3月) → 383者(2024年3月)
※協働プロジェクトのさらなる推進を図るための「パートナーズ交流会」を計4回開催
- ・金沢SDGsの達成度を可視化し、さらなるアクションにつなげていくための「金沢SDGs指標」を策定 (R5 全体達成度2.6/4.0)
- ・「金沢SDGsツーリズム推奨制度」を推進し、11者の推進事業者を認定
※国際認証であるGSTC認証制度等を参考に、宿泊事業者や観光事業者が「金沢らしい持続可能な観光の取り組み」を具現化し、取組の見える化により認定する制度 (2022年に創設)

5.取組推進の工夫

行政や一部の主体でのSDGsの達成が困難なことから、多様な主体で構成された「IMAGINE KANAZAWA2030推進会議」が中心となり、金沢SDGsの推進を行っている。「SDGsフェスタ」や市民アンケートなど、世代を問わず多くの主体の金沢SDGsの参画を推進している。

7.今後の展開策

- ・「金沢SDGs指標」の向上
※指標の周知・達成度向上施策の検討
- ・「金沢SDGsツーリズム推奨制度」の推進
※認定事業者の取組共有・新規認定事業者の募集
モニターツアーの催行

8.他地域への展開状況（普及効果）

金沢SDGsツーリズム推進事業者の公開取組報告会をオンラインで開催し、アーカイブ等で公開することで各企業の取組を発信し、プロモーションに努めた。

SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

石川県金沢市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

金沢市 SDGs 未来都市計画
世界の交流拠点都市金沢の実現 ～市民と来街者が「しあわせ」を共創するまち～
市民生活と調和した持続可能な観光振興
～「責任ある観光」により市民と観光客、双方の「しあわせ」を実現するまち金沢～

2020年度

第 1 期SDGs未来都市計画（2020～2022）の進捗評価結果報告シート（様式3-2）

石川県金沢市

第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（ 1 ） 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※ [] 内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	起業チャレンジ若者支援件数（累計）【9.5】	2018年 35 人	2022年 73 人	2030年 95 人	63%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。 （地域連携若者起業家支援事業の採択人数（累計）に指標名変更）
2	起業家交流事業開催数【9.5】	2018年 40 件	2022年 30 件	2030年 50 件	-100%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりマイナスではあるものの、段階的に落ち着きを取り戻してきたことから引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
3	子育てサポート人材数【1.4 4.7 4.a】	2018年 143 人	2022年 166 人	2030年 180 人	62%	2030年の目標へ向けて順調に進捗していたが、達成状況を「まちの子育て保健室開設地区数」に変更し、第 2 期計画で進捗を確認していく。
4	子育て家庭訪問件数【1.4 4.7 4.a】	2018年 未実施	2022年 13 件	2030年 300 件	4%	2030年の目標へ向けて、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。コロナ禍では多かった児童館等の施設の利用や身内に頼ることができない状況で悩みを聞いてほしいという需要が減少していると考えている。
5	働く女性の交流会参加人数【5.1 5.4 5.5 5.c】	2018年 未実施	2022年 70 人	2030年 120 人	58%	2030年の目標へ向けて順調に進捗していたが、達成状況を女性活躍推進会議参加事業者数（累計）に変更し、第 2 期計画で進捗を確認していく。
6	正規労働者へ転換した人数 （本市の制度活用による：累計）【8.5 8.9】	2018年 100 人	2022年 162 人	2030年 700 人	10%	2030年の目標へ向けて、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市制度が要件としている国助成金の申請数が減少したと思われる。
7	鉄道、バスの利用者数【11.2 11.3 11.6 11.7 11.a 11.b】	2018年 117.2 千人	2022年 95.2 千人	2030年 122 千人	-458%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
8	公共シェアサイクル「まちのり」利用者数【11.2 11.3 11.6 11.7 11.a 11.b】	2018年 63,284 人	2022年 253,345 人	2030年 100,000 人	518%	目標達成したが更なる増にむけて、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
9	「公園・緑地の整備状況」に対する満足度【11.2 11.3 11.6 11.7 11.a 11.b】	2018年 42.1 %	2022年 データなし	2030年 50 %	－	引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。 （「平成29年度金沢市都市計画マスタープラン」策定に伴うアンケート調査のため、次回改訂時（R9予定）に合わせて実施予定です。
10	「自然・緑の豊かさ」に対する満足度【11.2 11.3 11.6 11.7 11.a 11.b】	2018年 48.0 %	2022年 データなし	2030年 50 %	－	引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。 （「平成29年度金沢市都市計画マスタープラン」策定に伴うアンケート調査のため、次回改訂時（R9予定）に合わせて実施予定です。
11	金沢市全体のエネルギー消費量【7.2】	2018年 33,324 TJ	2022年 29,443 TJ	2030年 25,499 TJ	50%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており、第 2 期計画では、温室効果ガス排出量に焦点して進捗を確認していく。
12	資源化率 【12.2 12.3 12.5 12.8】	2018年 11.0 %	2022年 12.8 %	2030年 26.0 %	12%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。

（ 2 ） 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年 実績	2022年 目標値	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	古くて新しく心地よいまち（自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる）	金沢産材供給量	2018年 1,380 m ³	2022年 8,084 m ³	2022年 2,500 m ³	599%	目標達成したが更なる増にむけて、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
2	”もったいない”がないまち（環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる）	ごみ排出量	2018年 173,131 t	2022年 146,993 t	2022年 151,000 t	118%	目標達成したが更なる削減にむけて、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
3	子供がゆめを描けるまち（次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる）	「金沢IT部活」の部員数（累計）	2018年 未実施	2022年 40 人	2022年 39 人	103%	目標達成したが更なる増にむけて、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
4	働きたいも、生きがいも得られるまち（誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる）	男性の育児休業取得に係る事例の発信件数	2018年 未実施	2022年 7 件	2022年 9 件	78%	目標を達成できなかったが順調に推移しており、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
5	新しいもの、ことを生み出すまち（文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる）	起業にチャレンジする若者の支援件数（累計）	2018年 35 件	2022年 73 件	2022年 95 件	63%	目標を達成できなかったが順調に推移しており、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。 （（地域連携若者起業家支援事業の採択人数（累計）に取組名変更）

石川県金沢市 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（３）三側面ごとの取組の達成状況（自治体 S D G s モデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	取組名	取組内容	指標名	当初値		2022年		2022年（目標値）		達成度（％）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	【経済】 ①－ 1 クリエイティブ産業創出金沢会議（E A T 金沢）の開催 ①－ 2 金沢 AI ビレッジ等形成促進事業 ①－ 3 工芸の「つなぎ手」人材の育成 ①－ 4 工芸品の海外アート市場の開発 ①－ 5 国立工芸館との連携	・EAT金沢開催 ・金澤町家等を利活用するクリエイター等への支援(金沢AIビレッジ等形成促進事業) ・金沢未来のまち創造館(→21.8開館)を拠点とした各種産業活性化施策 ・工芸の販路コーディネーターの育成 ・新たな需要の開拓（国際的マーケット等での発信）	海外見本市出展等への支援件数（累計）	2018年	48 件	2022年	61 件	2022年	60 件	108%	目標達成したが更なる増にむけて、引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
2	【社会】 ①－ 1 大学生向け文化体験プログラム ①－ 2 金沢・建築キッズプログラム ①－ 3 宿泊施設や食のバリアフリーの推進 ①－ 4 アウトサイダー・アートの魅力発信 ①－ 5 共生社会ホストタウン推進 ①－ 6 まちなかの歩行環境の再整備	・建築文化の発信（金沢・建築月間（金沢・建築文化会議、建築キッズプログラム（ワークショップ、スタンプラリー）） ・宿泊施設改修事業費補助 ・知的・精神障害のある方等への創作活動支援「OUTSIDER ART PROJECT」 ・食のバリアフリー推進事業	中心市街地の市文化施設の利用者数	2018年	339,853 人	2022年	234,053 人	2022年	393,000 人	-199%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により標値に対して大きなマイナスではあるものの、段階的に落ち着きを取り戻してきたことから引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
3	【環境】 ①－ 1 宿泊施設や飲食店での食品ロスやプラスチックの削減、加賀野菜など地産地消の展開 ①－ 2 「木の文化都市・金沢」の創出 ①－ 3 用水、庭園などによる、水と緑のネットワークづくり ①－ 3 生物文化多様性の保全・啓発 ①－ 3 金沢にふさわしい次世代交通サービスの検討	・木の文化都市を創出する金沢会議（「木の文化都市・金沢」の継承と創出に向けての提言書」） ・豊かな緑化空間の創出(水と緑のネットワーク) ・金沢市生物多様性地域計画策定（22.3） ・金沢MaaSコンソーシアム設立	ごみ排出量	2016年	173,131 t	2022年	146,993 t	2022年	151,000 t	118%	目標達成したが更なる増にむけて、引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
			里山管理活動支援団体数	2018年	1 団体	2022年	5 団体	2022年	4 団体	133%	目標達成したが更なる増にむけて、引き続き第2期計画で進捗を確認していく。

（４）三側面をつなぐ統合的取組の達成状況（自治体 S D G s モデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	指標名	当初値	2022年 実績	2022年 目標値	達成度 (%)	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	【経済→環境】県外からの金澤町家購入・賃貸成約件数（累計）	2018年 14 件	2022年 19 件	2022年 19 件	100%	第2期計画には記載せず
2	【環境→経済】住宅支援制度の活用による県外からの移住者数（累計）	2018年 42 人	2022年 132 人	2022年 82 人	225%	第2期計画には記載せず
3	【経済→社会】中心市街地の市文化施設の利用者数	2018年 339,853 人	2022年 234,053 人	2022年 393,000 人	-199%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により標値に対して大きなマイナスではあるものの、段階的に落ち着きを取り戻してきたことから引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
4	【社会→経済】新製品開発・改良製品数（累計）	2018年 80 件	2022年 100 件	2022年 95 件	133%	第2期計画には記載せず
5	【社会→環境】温室効果ガス排出量	2014年 3,522 千tCO2	2022年 2,778 千tCO2	2022年 2,594 千tCO2	80%	目標には達成しなかったが、改善傾向にあるため、引き続き第 2 期計画で進捗を確認していく。
6	【環境→社会】市外へ就職する学生数	2018年 2,000 人	2022年 データなし	2022年 1,900 人	－	第2期計画には記載せず

石川県金沢市 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（５）第 1 期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

●特筆すべき事業内容
（１）の２の起業家交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催数が伸びず、当初値を割ることとなった。しかし、オンライン開催やコロナ対策の緩和により実績は上向いており、今後は引き続き起業支援と併せ、第４次産業革命に対応した新産業の創出を目指していく。
（１）の７の鉄道、バス利用者数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり徒歩、自転車等代替手段の利用も増えていることから大きく減少している。他方、公共シェアサイクル「まちのり」の利用者数は大幅に増加しており、公共交通機関に代わり、定着しつつあると考えている。今後は環境に配慮した移動手段が拡大されと考えている。
（３）の２、（４）の３の中心市街地の市文化施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により標値に対して大きなマイナスではあるものの、段階的に落ち着きを取り戻してきたことから、一昨年度の実績からは大きく回復している。海外からの観光客も増加傾向にあるため、引き続き各館のイベント開催や発信等に努めていく。

●成果
パートナーシップでSDGsを達成するプラットフォーム「IMAGINE KANAZAWA2030パートナーズ」の加入促進や金沢SDGsの達成度を可視化し、さらなるアクションにつなげていくための金沢市独自の指標「金沢SDGs指標」を策定した。さらに国際認証であるGSTC認証制度等を参考に、金沢市における持続可能な観光を推進するために、金沢SDGsの達成に取り組む市内の宿泊事業者や市内を対象とした旅行商品を提供する事業者をその取り組みに応じた「金沢SDGsツーリズム推進事業者」を認定する「金沢SDGsツーリズム推奨制度」を開始した。

●課題
今後取り組む課題として、新幹線時代への対応、ポストコロナ社会への対応を踏まえた施策の推進、国内外との交流の促進、都心部における都市機能の集積、環境を重視したまちへの転換、安全安心な都市の構築、新たなコミュニティの形成などがあり、これらの実現を図っていく必要がある。

●今後の展望
本計画は、これまでの歴史文化の中で培われた金沢の強みを生かし、多様な世代の人々の関わりを尊重しながらその豊かな文化を育み、市民や多様な主体の皆さまと心豊かで活力ある未来の金沢を創り上げることで持続的に発展するまちを目指している。これまで市民一人ひとりが自分ごととして踏み出すアクションの一步に繋げるため、関連団体とのパートナーシップのもと、「金沢ミライシナリオ（金沢SDGs行動計画）」の推進を通して、金沢SDGs「５つの方向性」に基づく経済・社会・環境の三側面からの取組を進めてきた。2024年度は金沢SDGsツーリズムの一環としてモニターツアーを催行し、持続可能な観光のPRに務めた。今後も、地道な取組を進めながら、SDGsが世界共通の目標（＝共通言語）であることを生かし、まちの魅力を国内のみならず世界に発信していくことで、市民と考え方や行動を共有し尊重する「金沢に根付いた観光をする観光客」を世界中から呼び込む基盤づくりを、市民とともに進めていきたい。

（６）有識者からの取組に対する評価

・様々な施策を進めているところに感銘を受ける。コロナ禍があったとはいえ、着実に展開しているという印象。そのエッセンスは多様な主体の巻き込みだという感があるが、そのあたりを明らかにしながら、今後は石川県全体としての復興にSDGsを組み込んでいくなど、より地域をけん引していく役割も期待したい。

・「金沢SDGs指標」の策定、「金沢SDGsツーリズム推奨制度」の制定など意欲的な取組を評価している。一方こうした取組を活用してどのような具体的な取組に繋げていくかについて、本様式に反映していけるとより望ましいので、今後の検討を期待する。